◆港区教育史編さん事業全体体制図および役割

70周年記念事業推進委員会
（29年度以降は、それに代わる組織）
副区長を長とする庁

報告

港区教育委員会

港区教育史編さん委員会

≪役割≫
港区教育史編さんの監修
編さん方針等、教育史編さんに係る重要事項の決定機関

≪委員構成≫
10名
学識経験者×2名
（※うち1名を委員長に選出、委員長が副委員長を指名／於：第1回編さん委員会）
教育関係者3名：青少年・スポーツ・PTA関係者、区職員×2名：教育長・次長、校園長3名：幼・小・中

≪開催頻度≫
年2～3回開催
・平成28年度：1月開催（基本方針の策定等）、その後2月下旬頃2回目を開催（予定）
・平成29年度以降：毎年2～3回開催（3回の場合：ex. 7月上旬、10月上旬、1月上旬）

港区教育史編さん検討会

≪役割≫
港区教育史編さん基本方針等各種素案決定機関
港区教育史の編集作業全体の進行管理・編さん委員会で方針決定した事項についての実務的な決定機関

≪検討会メンバー≫
会長：次長、副会長：庶務課長
メンバー：学務課長、生涯学習推進課長、図書・文化財課長、指導室長、校園長３名

≪権限≫
編さん委員会で方針決定した事項について実務的に推進する際の決裁権を持つ

港区教育史編集室
（教育委員会事務局　指導室　教育センター）

≪役割≫
編さん検討会の下部組織
委員会および検討会の決定事項を実務的に調整し実践する。
資料収集、資料整理、執筆・編集作業全般

≪メンバー構成≫
学識経験者、教育関係者（元校長等）、教育センター職員
教育史関係課職員

支援

編さん支援事業者
（TRC丸善ADEACグループ）

編さん支援業務に必要な機能をもつ共同事業体（図書館流通センター・丸善雄松堂・TRC-ADEACの3社）。
編さん委員会事務局および教育史編集室の活動を支援。

教育史編さん事務局
（教育委員会事務局　庶務課）
≪役割≫
港区教育史編さん事業全体の事務局